

新たな価値創造への挑戦

既存“資源”を發掘して新たなビジネスを

京都には、歴史ある伝統や文化に加え、優れた先端技術や職人によって培われてきた匠の技、芸術と結びついたグランドデザインなど、他にはないさまざまな強みがある。こうした既存技術や商品など身近な“資源”を改めて見直し、現代ニーズをうまく取り込むことで、新しい価値創造、あるいは既存スタンスから脱却したビジネスに取り組む企業や小売店も少なくない。今回は、京都で活躍する先進企業の事例を紹介しながら、成熟社会におけるビジネスの方向性を考えたい。

既存商品 + 知恵
= 新市場
開拓

八代目儀兵衛

企業名 株式会社 八代目儀兵衛 (ライスステーション はしもと)
所在地 京都市下京区西七条北衣田町10
TEL 075-313-4752
URL <http://www.okomeya.net/>
代表者 橋本隆志
創業 1925 (大正14) 年
事業内容 米及び関連商品の販売



良縁米

スーパーやコンビニでお米が売られる時代、米穀店の存在意義があらためて問われようとしている。「価格競争に頼るのではなく、米屋の優位性を生み出す」知恵が必要」と橋本隆志社長。これまで培ってきた豊富な専門知識を生かして、新たな仕掛けづくりができないか……。一つの答えが、「お米のギフト」という発想だった。「三百種類以上のお米を味わって、その特徴を知り尽くしている」と胸を張る橋本さん。数年前、結婚式などで使われる従来と変わらない引出物に不満を感じて開発したのが、ユニークな「良縁米」だ。黒と赤、高級感あふれる二種類のちりめん巾着の中に、橋本さん自らが厳選した良質米が三合ずつ詰められている。黒の巾着には男性的イメージの歯応えのあるお米、赤の巾着には女性的イメージした柔らかいお米を選んだ。それまでのギフトのイメージと異なる意外性と愛らしさが受け、プライベート会社などから引き合いが相次いでいる。「メニューに合わせてワインを選ぶように、その日のおかずに合わせてお米を選んでほしいのでは」と橋本さん。そんな発想から生まれたのが、「お米で楽しむ十二単シリーズ」だ。炒め物にぴったりの中米、しっとり甘めの洋食米、冷めてもおいしいおにぎり米など、全国の産地からTPOに応じてお米を選び抜き、日本の伝統色を表す十二種類の風呂敷に包み込んで提供した。安全・安心、おいしさへのこだわりはもちろん、オリジナリティあふれる食の楽しさを提案することで、「ギフトとしてお米の魅力が高まりつつある」と満足そうに話す。そのほか、祇園囃子の音色をイメージ（粘り・旨み・のど越し）した高級ブレンド米「祇園囃子」、西陣織の帯や組紐にお米を包んだ「献上米」など、それまで脇役だったお米を主人公に仕立てることで、米穀店の強み・優位性を押し出すことに成功。食の欧米化が進んでいる現在、上場企業をはじめ多くの企業のプレミアム・ノベルティとして全国に発送している。「アイデアと工夫次第で、お客さまに振り向いてもらう仕掛けづくりができる」と市場の手応えに自信を深める。



十二単シリーズ

“後継者の問題”で悩んでいませんか？

～京都商工会議所の事業承継支援～



中 小企業庁より平成18年6月に「事業承継ガイドライン」が公表されました。“2007年問題”として団塊の世代の大量退職が問題となりましたが、同様に多くの経営者の方が退職年齢に達しておられます。経営者の方にとって事業承継は一度限りの大仕事。しかし、事業承継は今日決めて明日実行という対処はできません。

経営者の方のハッピーリタイアを実現するためには計画を立てて事業承継に対処する事が大切だという意識が高まってきています。

本所では、「事業承継ガイドライン」に沿った、中小企業経営者の事業承継に関するご相談窓口を開設。親族内承継、従業員や外部からの雇入れによる承継、M&Aによる承継に関わりなく、秘密厳守で皆さまからのご相談にお応えしています。相談をいただくなかで、きっとベストな事業承継の形が見つかると思いますので、ぜひ、お気軽にご相談ください。



専門相談窓口を開設しました

開設日	2月4日(月)、2月16日(土) 3月3日(月)、3月15日(土)
時間	13:00～16:00
会場	本所 中小企業経営相談センター (中京区烏丸御池南東角)
申込方法	予約制のため、1週間前までにお問合せください
お問合せ	☎075-212-6470 URL http://www.bmpj-kyoto.biz/ma

小規模事業者のための 経営改善資金融資制度 マル経 資金融資

ご相談はすべて無料です

お問合せ・ご相談
京都商工会議所 中小企業経営相談センター
※事業所のある行政区の各支部へご相談ください。(下の地図参照)



経営のご相談はお気軽に

無担保・無保証・低金利 (手数料無料)

- 融資の条件**
- 融資限度額550万円 (設備・運転を併せた限度額)
 - 返済は元金均等月賦返済。(残債方式で、利息は毎月減額)
 - 信用保証協会による保証も不要。
 - 融資限度額の範囲内で、マル経の借り換えの利用もOK。
 - 返済期間は、設備：7年以内 運転：5年以内 (いずれも6カ月以内の据置も可)
 - 利率一年2.0% (平成20年1月11日現在)
 - ※ご相談の内容によっては、ご希望に沿えない場合があります。

融資限度額
550万円

- 利用の対象**
- 従業員数が20人以下 (商業・サービス業では5人以下) の事業者の方。(ただし、法人役員、家族従業員、パートは除く)
 - 従前から商工会議所の経営指導を受けている方。
 - 所得税・法人税・事業税・住民税を完納している方。
 - 京都市内で、最近1年以上営業している方。



経済環境変化経営改善貸付 へんげい貸付

- 金利・返済期間等はマル経と同様です。
マル経融資と併せて1,000万円までご利用いただけます。ただし、貸付条件については一部制約があります。詳しくは相談窓口でお尋ねください。(取扱期間は平成20年3月31日まで)

融資限度額
450万円

既存技術 + 知恵

＝新技術開発

とうあん 陶葺

企業名 株式会社 陶葺
所在地 京都市東山区泉涌寺東林町38
TEL 075-541-1987
URL http://www.touan.co.jp/
代表 土淵善英
創業 1922 (大正11) 年
事業内容 陶磁器の製造・販売



「既存技術に知恵を加えることで、新しい可能性が生まれる」と土淵社長。伝統産業の枠組みを広げる取り組みとして、そのユニークな技術・発想にますます期待が集まりそうだ。

既存商品 + 知恵

＝新市場開拓

まるよし 丸嘉

企業名 京都・木想商家 株式会社 丸嘉
所在地 京都市伏見区横大路貴船114
TEL 075-622-1408
URL http://www.maruyoshi21.com/
代表 小畑隆正
創業 1859 (安政6) 年
事業内容 無垢フローリング・自然素材の販売、古材を使った住宅・店舗設計



「自由を選んでいただく時代」と小畑隆正社長。そして二〇〇三年、京都・木想商家」と名付けた専門のショールームをオープンさせた。明るく落ち着きのある店内で、百種類以上の純無垢フローリング素材を、納得するまで見て、触れて、試用できるのが魅力。オンライン販売も好調で、全顧客の七割を一般ユーザーが占めるなど、新たな市場開拓に成功している。二年前には、古民家などで使われていた古材を再利用するビジネスにも乗り出した。「古材は究極の無垢材。大工さんの鑿・榫の跡など、独特の風合いが人気」と、これまでさまざまな町家風カフェやブティックなどの店舗設計を手がけて好評を得ている。「木材がもつ新しい価値を提案したい」と小畑さんは胸を張る。

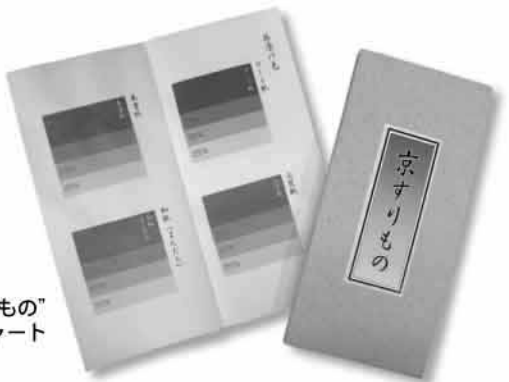
木材が持つ付加価値を個人向けに発信

既存技術 + 知恵

＝新商品開発

京都府印刷工業組合

組合名 京都府印刷工業組合
所在地 京都市右京区西院久田町1 京都印刷会館内
TEL 075-312-0020
URL http://www.kyoinko.jp/
代表 吉川宣治 (理事長)
創業 1949 (昭和24) 年
事業内容 印刷業に関する指導・教育、調査研究、情報提供、資材等の共同購入・斡旋、福利厚生など



「京すりもの」カラーチャート

パソコンの普及などで、誰もが手軽にデザイン編集やプリントができるようになり、印刷産業はかつてない大きな節目に差しかかっている。「京都における印刷の歴史は古い。この街から印刷機の音を消すわけにはいかない」と吉川宣治理事長。三年前、業界の活性化を目指し、印刷のブランド化に向けて取り組みを始めた。「似たような印刷物ではなく、京都にしかないオンリーワンの『京すりもの』というブランドがあってもいいのではないか」と中路悦雄副理事長は語る。組合内にブランド推進委員会を立ち上げ、京都商工会議所が主催するセミナーに積極的に参加するなど勉強を繰り返したほか、京都のイメージを明確にするために首都圏を中心とする印刷関連会社（各社の海外支店も含む）へのアンケートを実施。「京都から想像する色は？」「京都らしいフォントは？」など細かく調査した。その結果、京都の代表カラーは紫ではなく、紅葉や抹茶の色、そして金色、と答える人が多かったという。「私たちが気づかなかった京都の新たな側面が浮き彫りになった」と振り返る。

こうした調査をもとに昨年三月、円山公園のしだれ桜色「高雄のみみじ色」宇治茶色など、京都にゆかりのある名前をつけた十二色を産学連携で生み出し、コート紙や上質紙、和紙などに印刷した経本型のカラーサンプルを発行した。「雅やかではなくなり、ひと目で京都の情景が思い浮かぶオリジナルカラー」と吉川理事長は自信を示す。また、フォントメーカーと共同で、五十文字の京ひらがなを開発。縦書きで読みやすいうえ、美しく見えるよう工夫されており、丸みのある優しい書体が特長だ。「市場からの反響が大きく、ぜひ使いたい」と問い合わせても舞い込んでいる」と中路副理事長。今後は、「京すりもの」という名称の地域団体商標登録を目指すほか、京都で発行する印刷物などに京すりものや京ひらがなを普及していきたいと考えている。「京都に拠点を置く印刷会社の付加価値をきちんと発信することで、業界の活性化につなげたい」と期待を込める。



京ひらがなフォント

京すりものでオリジナルブランド展開

伝統技術 + 知恵

＝需要拡大

福田人形店

企業名 株式会社 福田人形店
所在地 京都市下京区六条通鳥丸東入仏具屋町164
TEL 075-351-6917
URL http://www.est.hi-ho.ne.jp/fukuda-ningyo/
代表 福田眞一
創業 1964 (昭和39) 年
事業内容 ひな人形・五月人形など、京人形の製造・販売・修理



家族の幸福や健康への願いが込められた京人形。親から子へと代々引き継がれるケースも多く、「傷んだ顔や衣装の修理をしてほしい」という要望が増えている。だが、京人形の世界は、頭師や髪付師、小道具師などその仕事がかく分業されている。頭の場合、下地となる胡粉や膠の微妙な加減ならびに面相によって人形の雰囲気が大きく変わってしまうため、部分的な修理対応は難しかったという。「ひな人形や五月人形の市場が縮小するなか、埋もれた顧客ニーズに応えていくことが大切」と福田眞一社長。昨年一月、京人形に携わる修理職人のネットワーク「福田匠庵」を結成し、「取り替える」のではなく、「生かす」をキーワードにした幅広いサービスを展開している。ネットワークの立ち上げにあたっては、修理技術を学ぶ勉強会を定期開催し、職人育成などにも力を注いだ。これまでに手がけた人形修理は二百体以上。伝統的な京人形だけでなく、陶製や木製の人形などにも対応できるのが魅力で、「京都が誇る伝統技術を生かして、新しい産業を切り拓きたい」と意気込みを語る。

既存商品 + 知恵

＝需要拡大

らくたび

企業名 株式会社 らくたび
所在地 京都市下京区河原町通五条南西角 昭栄ビル4F
TEL 075-352-0163
URL http://www.rakutabi.com/
代表 山村純也
創業 2006 (平成18) 年
事業内容 京都に特化した旅行企画・ガイド、京都学講座の主催など



どこにでもあるようなお仕着せの「発地型」ツアーではなく、「目的地にある旅行会社に頼んで、その地域ならではの魅力を味わう」着地型のツアーが増えている」と話すのは若村亮副代表。京都を訪れる旅行客の半数以上はリピーター。彼らは、これまでの物見遊山の観光とは違った、自分たちだけの新たな発見、感動を求めているという。同社では、「通し矢と楊枝のお加持(二月)」「須賀神社懸想文と吉田神社節分祭(二月)」など、京都ならではの歳時記をからめたツアーを企画。専門ガイドの案内で関連する歴史スポットを見て回るほか、西陣織の織機を動かしたり、京焼のろくろに触れてみるなど、学習型・体験型の旅行企画が話題を呼んでいる。また、観光ガイドブックなどには載っていない、京都の奥底を学ぶ「京都講座」も定期的に開催。京都・観光文化検定の認知度が高まっていることもあり、「観光客だけではなく京都在住の人たちも数多く参加されている」と話す。消費者のニーズを掘り起こし、京都が培ってきた文化資産とうまく結びつけた成功事例だろう。

京都の奥底を発見する体験型ツアー



京都に蓄積された資源の存在価値を考える

「小売業というのは、モノを売るビジネスではないんですよ」。以前、ある小売店を取材したとき、店主が目を輝かせて語った言葉が、今でも強く印象に残っている。そのときは店主が何を言おうとしていたのかははっきりと理解できなかった。今、市場にあらゆる商品やサービスがあふれ、ともすれば価格に特化した激しい競争を強いられようとしている。多くの中小企業や小売店にとって、お客さまが順番待ちしてでも買ってくれるような魅力あるモノやサービスを生み出すのは容易ではない。よそには真似のできないものを「とやまれるが」「では、それがどんなものか?」という問いかけには、なかなか答えられないだろう。今回の取材で、爽快ともいえる気概をもって新ビジネスを展開している企業などに触れ、溜飲の下がる思いがした。たとえば、「京都府印刷工業組合」は、「印刷」という一見差別化しにくい商材を取り扱っている。だが、京都で歴史を重ねてきた企業の「地の利」を全面的に押し出し、「京すりもの」という新たなテクノロジーを確立することで、印刷のブランド化に結びつけようと考えている。同様に、「福田人形店」や「陶葺」で

西部の鯖街道で 古代ロマン連携事業を展開

四條大宮商店街振興組合



高浜町「食文化フェア」会場での事業アピール

四條大宮商店街振興組合（石田哲雄理事長）では、西部の鯖街道と銘打ち、福井県高浜町、南丹市美山町、右京区京北との連携事業に着手した。同事業は、中小企業基盤整備機構の「地域資源活用企業化コーディネート活動等支援事業」の認定を受けたもの。かつて若狭・丹波・京都を結んだ街道に関連した地域資源を発掘し、「観光」と「食」の開発と事業化を目指している。

西の鯖街道は、奈良時代から大正時代初期まで魚を運んだ街道で、手つかずの歴史・文化・産業資源が数多く存在している。同組合では、それらの地域資源を見直し、活用することで、古代ロマンが感じられる「健康希求の旅と食」の街道に生まれ変わらばと考えている。

地域資源の活用のために、行政、商工会、歴史専門家、街道沿いの住民を巻き込んだ事業を展開。十月二十日（土）に、福井県高浜町で第一回の委員会を開催したほか、十一月二十二日（木）に、京北で「観光資源部会」の食の資源部会を発足させた。今年の七月十五日（火）には、同部会の成果発表の場として、四條大宮一帯で「西の鯖街道」イベント（物産店、街道パネル展、シンポジウムなど）を予定しており、イベントの成功に向け、活発な商店街事業が行われている。

お問合せ 四條大宮商店街振興組合「西の鯖街道」事業事務局
☎075-252-4838 (株)アズミノ内

常にチャレンジする 京の台所「錦市場」

京都錦市場商店街振興組合



京都錦市場商店街振興組合（宇津克美理事長）の空き店舗に、本所や京都府、京都市などが

支援する女性起業家が、十一月一日（木）、新規出店した。今回出店した「葉膳カフェ&ギャラリー」京都錦きれいや、店主の山口真輝さんは、平成十八年度本所京都・ビジネスモデル推進センター主催の創業塾修了生。同年、京都市の商い創出事業に選ばれ、新風館で屋台出店されるとともに、京都府女性総合センター主催の起業イベントなどに参加し、創業準備を進めていた。山口さんは薬剤師の経験と漢方の知識を生かして、美容と健康のためのオリジナル薬膳茶を考案。お店の看板メニューとして売り出すとともに、将来的には、お客さまの体調に合わせてオリジナル茶の調合や、お茶についての勉強会など、気軽なサロンとしての活用も考えている。

「京の台所」として広く市民に親しまれている同商店街では、宇津理事長のリーダーシップのもと、フィレンツェ市中央市場との交流や、若手デザイナーによるファッションショーの開催、また、定期観光バスによる京の冬の旅コースのひとつとして、閑散期の集客対策を図っていくなど、伝統を守りながら常に新しい事業にチャレンジしている。今回の女性起業家の出店は、起業への側面的支援や商店街の新たな客層の獲得など、新しい取り組みのひとつとして期待される。

私もチャレンジ！ おもてなしカンタン英会話講座 開講

深草稲荷保勝会

深草稲荷保勝会（村上理郎会長）では、周辺商店街などで構成する稲荷繁栄会、稲栄会と共催（後援／稲荷金融協議会）で「私もチャレンジ！ おもてなしカンタン英会話講座」を十一月二十六日（月）に開講した。



伏見稲荷大社は、平成二十三年に大神御鎮座千三百年を迎え、近年、外国人の参拝者が増えていることから、外国人へのさらなる「おもてなし」の向上に取り組んだもの。

講師には、ホテルなどで英語やコミュニケーショントレーニングを担当している、リブコンサルタントの山崎聡子代表をお招きし、ロールプレイングを中心に実施した。基本的なあいさつや、外国人のお客さまへのアプローチのための言葉づかいなどが行われ、終始、笑いの絶えない和やかな雰囲気での講習は進んだ。

受講者からは、「外国の方に失礼なくお声がけする言葉を知った」「アプローチする恐怖心が練習することでやわらいだ」と好評だった。また、「英語だけでなく他の言葉も学んでみたい」「お声がけだけでなく、伏見稲荷大社のことや商品の説明もできるようなりたい」となど、さらなるおもてなし向上のために努力したいとの声が多数聞かれ、大変有意義で楽しい講座となった。

北野商店街振興組合 創立40周年記念イベントを実施

北野商店街振興組合

北野商店街振興組合（小川真澄理事長）は、創立四十周年を迎えた記念に、十一月二十七日（火）、京都こども文化会館で盛大なイベントを開催した。

北野は、露の五郎兵衛が江戸時代中期に「浮世落断」をこの界隈で初めて興行した、上方落語の発祥の地と伝わっている。その伝承にちなみ、「北野寄席」と銘打って落語会を企画。商店街内での買い物三百円ごとにスタンプを押し、四個集めると入場チケットになるよう趣向を凝らした。

当日は、笑福亭見瓶、二代目森乃福郎、桂都丸らが熱演を繰り広げた。また、野外ではものづくり市、大バザールでは京北町や大山崎町、宇治田原町の名産品の販売や、伊根町の獲れたて鮮魚の一夜干即売会を開催。そのほか、BATHING HOLIDAYによる和太鼓演奏や、祇園カルシウムハウスの梶子ママおよび美山高校大野校長の2つのトークショーなど、盛りだくさんのイベントも実施した。日ごろ商店街で買い物をする周辺住民、一般客にさまざまな催しを提供するなど、充実した商店街事業となった。



北野商店街では、今年度の京都産業21のチャレンジショップ事業を申請するなど、空き店舗対策に積極的に取り組んでいる。今後も、地域密着型の「何でもそろろ」地域に愛される「商店街」として商品・サービスの提供を計画している。

税務に関するお悩みはありませんか？ 無料税務特別相談会のお知らせ

洛北支部

本所中小企業経営相談センター洛北支部では、昨年度に引き続き「税務特別相談会」を実施致します。開催日は、個人所得税申告時期に合わせて、二月十八日（月）から二十一日（木）までの四日間（十八日は通常の専門相談日）。各日一人の税理士が特別相談員として、洛北支部の相談コーナーで確定申告の各種質問に応じるほか、経費区分や記帳など税務関係全般のあらゆる質問に無料で対応します。



同相談会は、昨年度好評であったことから、税務に対するお悩みに役立てていただこうと今年も開催するもの。今回も予約の必要はなく（先着順）、洛北エリアだけでなく市内全域の事業者からの相談を受け付けますので、税務についての疑問があれば、この機会にご相談ください。多くの方のご来所をお待ちしています。

お問合せ 洛北支部（左京区北大路通り下鴨本通り北東角洛北ビル三階）
☎075-701-0349

●毎月第1・第3月曜日にてご無料税務相談を、ご利用ください

日付	時間
18日月	13時～17時
19日火	10時～16時
20日水	10時～16時
21日木	10時～16時

※受付は終了時間の30分前まで
昼休み／12:00～13:00

経営に役立つ情報を 提供します

本所

本所中小企業経営相談センターでは、経営に役立つパンフレットや冊子を取りそろえています。本所発行物のほか、中小企業庁や京都府・京都市などにより制作されたものも無料配布しておりますので、ぜひお越しください（平日の午前九時から午後五時まで）。



◎経営支援ガイド（本所）
本所の中小企業支援メニューをまとめた小冊子。無料の専門相談や事業承継の支援制度、お得な共済制度などをわかりやすく紹介しています。

◎中小企業のための金融制度の手引き（本所）
小規模事業者のための資金融資を無担保・無保証・低利息で斡旋する「マル経融資」をはじめ、本所が限定の「提携融資」など、有利な金融制度を紹介しています。

◎中小企業施策利用ガイドブック（中小企業庁）
中小企業庁の主な施策を掲載。優遇税制や補助金・助成金についてなど、商店街や組合が活用できるさまざまな施策を掲載しています。

そのほか、経営革新や事業承継、中小企業税制などのさまざまな手引書、解説書も取りそろえています。また本センターで各パンフレットの説明を随時行っていますので、お気軽にお問い合わせください。
（お問合せ）
本所 中小企業経営相談センター
☎075-212-6460
またはセンター各支部まで（☎はP7下段に掲載）

事業承継をお手伝いします

本所は、十二月四日(火)、(株)本M&Aセンター情報開発部長の東雅也氏を講師に招き、中小企業の「M&A市場」の活用を考えるセミナーを開催した。セミナーでは、「経営者の高齢化」と後継者難に悩む中小企業にとり、M&Aによる外部への譲渡が有力な解決手段のひとつ」と説明。M&Aを活用し、経営者のハッピーリタイアにつなげた事例も紹介された。



また二月八日(金)には、京都ホテルオークラで、京都・事業承継シンポジウム2008を開催予定。静岡大学教授の小和田哲男氏による基調講演「戦国武将に

学ぶ事業承継」武將たちはいかに家を存続させたか」のほか、「京都の事業承継を支える」と題したシンポジウムが開催される。

本所では事業承継に関する専門窓口相談や専門家派遣相談などを実施しております。「親族内事業承継」や「従業員などへの承継・外部からの雇い入れ」「M&A」のご相談に、秘密厳守でお応えしています(詳細についてはP8をご参照ください)。

※お問合せ・お申込み
☎075-21216460

OB人材のスキルで経営革新

企業等OB人材マッチング京都協議会(本所を含め産業支援機関などで構成)は、十一月二十七日(火)、企業等OB人材マッチングフォーラム京都を池坊短期大学で開催し、企業OBや企業経営者など約百人が参加した。

このフォーラムは、中小企業の経営に企業OBがもつ技術やノウハウを、導入・支援する事



業(企業等OB人材マッチング)を周知することが狙い。同日は、京都工業繊維大学教授の一田昌利氏による基調講演や同協議会コーディネータによる事業説明が行われたほか、活用企業と支援人材の双方から事例発表がなされた。

ロハスな暮らし、いかがですか モア・サンク/天然素材による婦人服の製造・販売

天然素材、特にオーガニック・コットン(化学肥料を使わない有機木綿)にこだわった婦人服の企画デザイン、製造・販売を手がけている。すべてのアイテムに共通しているコンセプトは、健康的で地球環境に配慮したライフスタイルを意味する「LOHAS(ロハス)」。「柔らかな肌触りが天然素材の魅力。使ったあとは、やがて土へと還っていく。地球環境にもとても優しいんです」と話すのは平岡隆さん。今から三年ほど前、お孫さんが誕生したのをきっかけに、天然素材を使った抱っこ紐「wemising(ワイミースリング)」の開発を行った。単に赤ちゃんを運ぶ道具としてとらえるのではなく、赤ちゃんと同親の一体感、温もりが伝わるように工夫したという。「おなかの袋で子どもを守り育てる。カンガルー・ケア」の発想から生まれまし



た。素材の質感、風合いはもちろん、負担のかけやすい肩紐部分に柔らかい生地を重ねるなど、使い心地の良さが人気を呼んでいる。他府県から京都観光に来られたついでに当店に立ち寄り買い求められるというケースも少なくない。「新たなロハス・スタイルをどんどん発信していきたい」。平岡さんの夢はまだまだ大きく膨らんでいる。



モア・サンク代表 平岡隆さん

株式会社モア・サンク(銀閣寺店)
天然の綿や麻、オーガニック素材を使った婦人ウェア、オリジナル開発したベビー・スリングの企画・販売を行っている。代表の平岡さんは、現役のデザイナーとしても活躍。

DATA
京都市左京区浄土寺東田町93-5
☎075-7511031
URL <http://wemising.jp/>

専門相談のご案内

小規模事業者の皆様のご相談に、各専門家が適切なアドバイスを行います。相談は無料、秘密は厳守致しますので、お気軽にご利用ください。

京都商工会議所 中小企業経営相談センター
本部 ☎075-212-6460
洛北支部 ☎075-701-0349
洛南支部 ☎075-611-7085
洛西支部 ☎075-314-8771

相談分野	時間	相談日	相談場所
法律	午後1時~午後4時 受付は午後3時30分まで	毎週(火)	本部
経営	午後1時~午後4時 受付は午後3時30分まで	毎週(水)	本部
店舗運営管理	(事前予約制)		洛南支部
相続贈与税資産運用	午後1時~午後5時 受付は午後4時45分まで	第1・3(木)	本部
税務	午後1時~午後5時 受付は午後4時45分まで	第2・4(木)	本部
		第1・3(月)	洛北支部
		第2・4(火)	洛西支部
		第2・4(水)	洛南支部
適年移行・退職金準備・保険見直し・高齢者最適資金	午後1時~午後4時30分 受付は午後3時30分まで	第2・3(金)	本部
事業継承	(事前予約制)		本部

法律

取引上のトラブル・手形・小切手・売掛金回収・契約・登記・金銭貸借・不動産売買など。その他交通事故、相続、保証人などの法律問題。

経営

財務・労務管理、生産管理、マーケティングなど企業経営に関するさまざまな相談。

店舗運営管理

外装、売り場管理、その他商店街の活性化や個店の活力アップの方策など。

相続贈与税・資産運用

低金利制度の中で資産価値を高める運用方法など、関連する税制面を踏まえたアドバイス。

税務

所得税、法人税、事業税、固定資産税、消費税、確定申告の仕方など。

適年移行・退職金準備・保険見直し・高齢者最適資金

平成24年3月31日に廃止される「適格退職年金」の制度移行問題、退職金準備相談、共済並びに資金制度など。

事業継承

親族や従業員に事業を譲る場合やM&A、相続税の納付対策など。

取引先管理のコツを学ぶ

本所は、経営安定特別相談室の一環として、十一月十四日(水)に経営活性化セミナーを開催した。

本セミナーは、毎年経営に関する時宜にかなった内容をテーマに開催しているもので、今年(株)セントラル総合研究所の長野修三氏を講師に迎え、信頼できる会社! 危ない会社の見分け方と取引先管理のコツについて講演し、九十一人の参加を得た。

講師からは、「厳しい時代だからこそ、取引先管理が重要。取引先ごとの取引限度額の設定はもろろんのこと、定期的なチェックや、平日頃からの情報収集が大切」と説明があった。

経営安定特別相談室では、今後も経営安定に向けたさまざまなセミナーを開催していくほか、倒産の恐れのある中小企業からの相談にお応えしています。経営の先行きに不安が生じた時は、できるだけお早めにご相談ください。

※お問合せ
☎075-21216434

取引先に不測の事態が生じた場合の資金手当て

経営セーフティ共済(中小企業倒産防止共済)

◎万一、取引先業者が倒産し、売掛金や受取手形などの回収が困難になった場合、積み立てた掛金の10倍の範囲内で、共済金(被害相当額)の貸付を、無担保・無保証人・無利子で受けられます。



特色

- ①取引先業者が倒産した場合、最高3,200万円の共済貸付が受けられます(掛金総額の10倍に相当する額、または被害額のいずれか低い額の範囲内)
- ②貸付は無担保・無保証人・無利子で受けられます(ただし、貸付共済金の1/10に相当する額は掛金から控除)
- ③掛金は税法上、損金(法人)・必要経費(個人)に算入できます

掛金

毎月の掛け金は5,000円~80,000円(5,000円単位)の範囲で自由を選べます。

お申込み・お問合せ
本所 中小企業経営相談センター
☎075-212-6434